

# グラフで見る関西経済(2023年3月)

2023年3月30日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

## 【今月のポイント】

- 関西経済は、足踏み状態となっている。
- 1月の生産は2ヵ月ぶりに前月比で減少し、弱含んでいる。電子部品デバイス、電気機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。
- 2月の実質輸出は4ヵ月ぶりに増加したが、水準は高くなく、足踏み状態となっている。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きがみられる。自動車販売も、コロナ前を下回る水準ではあるが、持ち直しの動きがみられる。

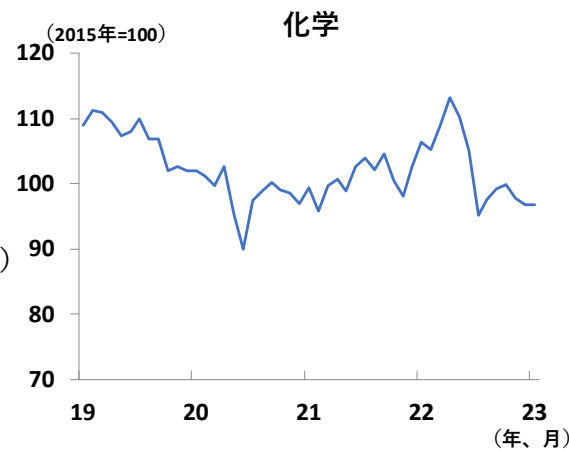
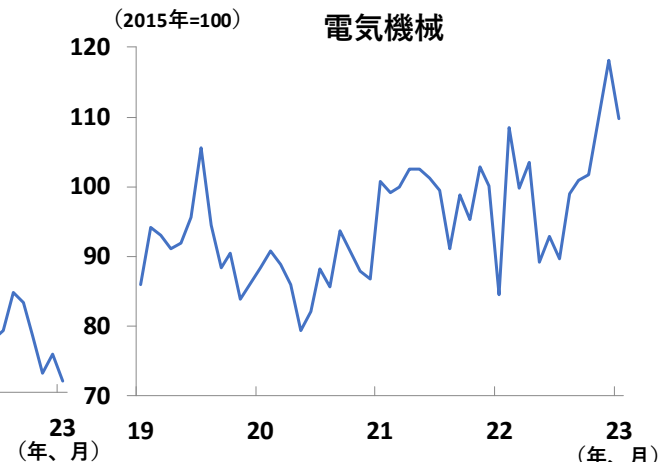
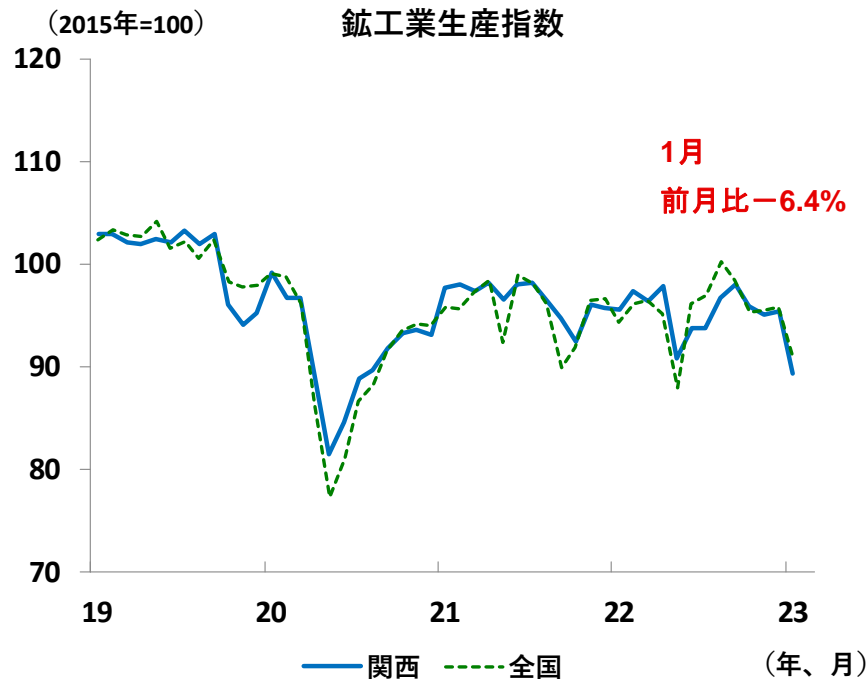
項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	弱含んでいる(↓)
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	請負金額は弱含み

注：()内は前月からの変化の方向

生産は、「足踏み状態となっている」から下方修正(↓)

# 生産

1月の鉱工業生産(関西)は前月比-6.4%と2カ月ぶりに減少し、弱含んでいる。業種別では、電子部品デバイス、電気機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。



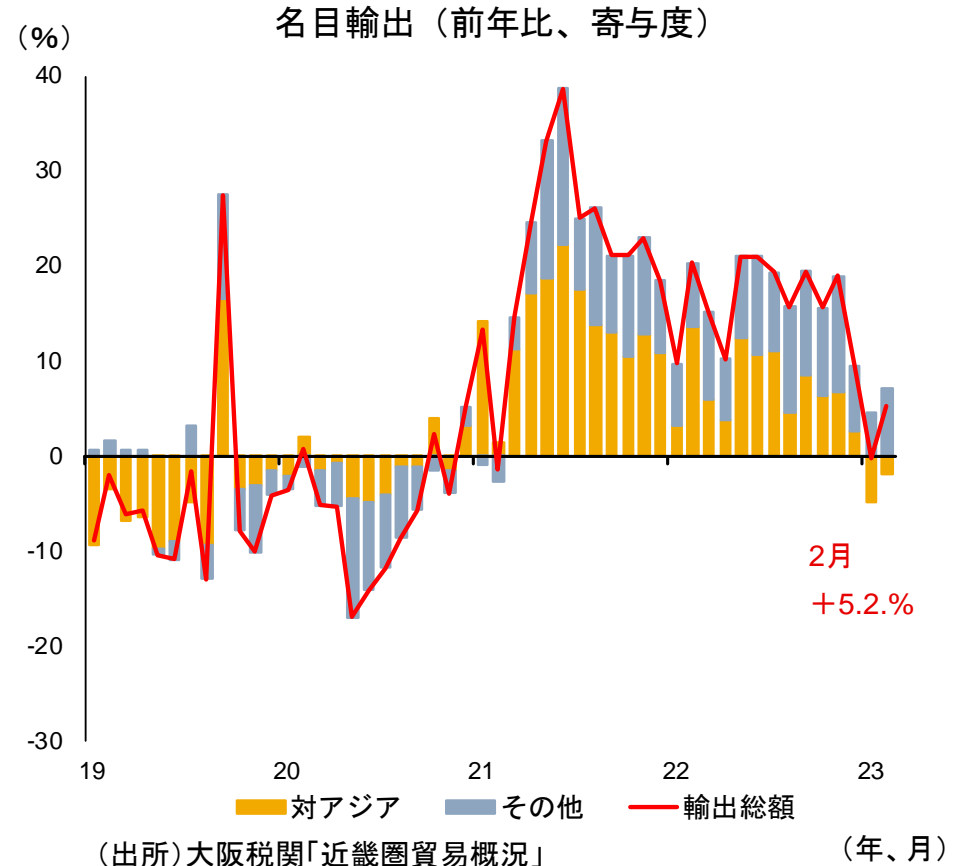
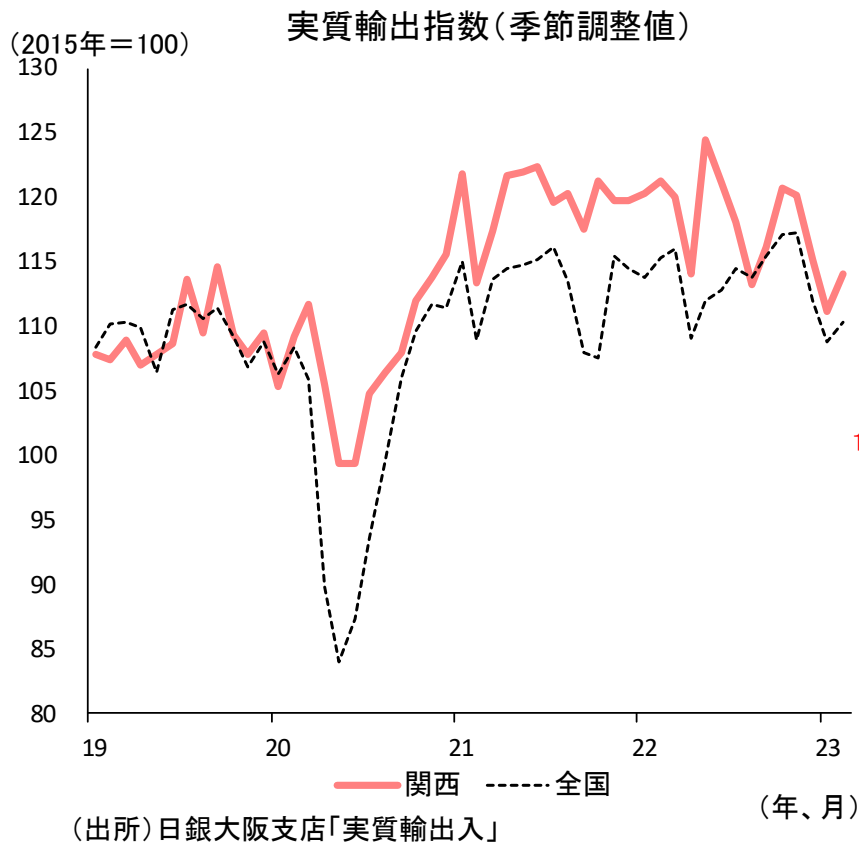
(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

# 輸出

輸出は足踏み状態となっている。

2月の実質輸出(季節調整値)は前月比+2.6%と4ヵ月ぶりに上昇した。

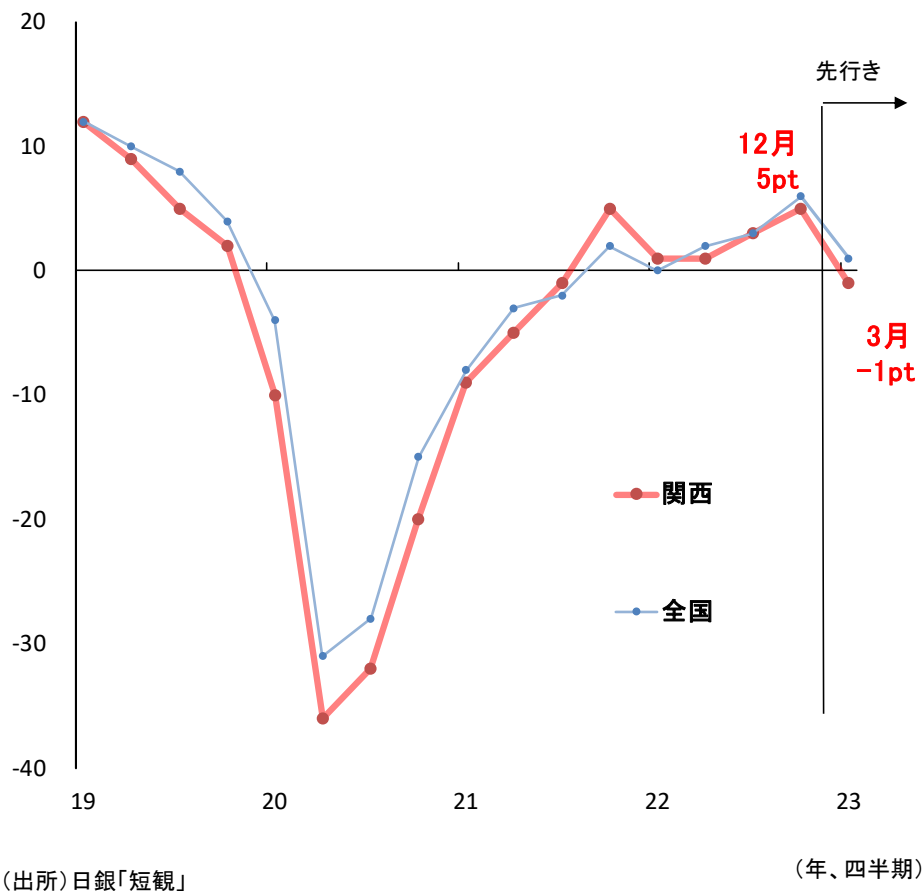
名目輸出額は、1月は中国春節の日並びの影響もあって前年比で減少したが、2月は増加に転じた。地域別ではアジア向けが減少したが、他は増加した。品目別では鉄鋼、医薬品などが増加した。



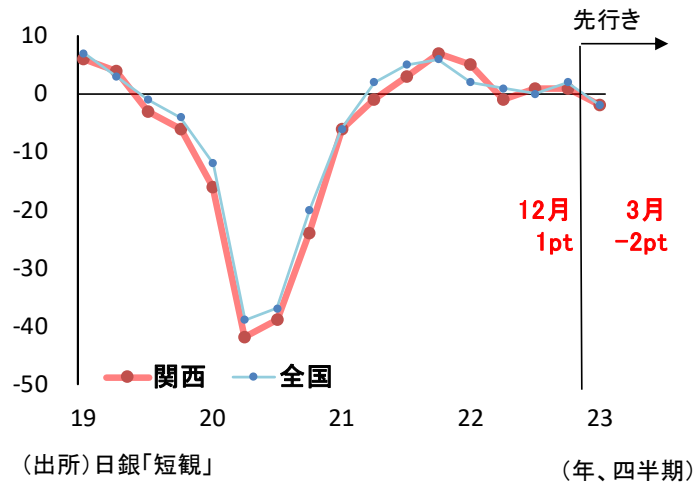
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で+5ptと9月調査から改善。製造業は横ばい、非製造業は改善した。先行き(3月)については、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。

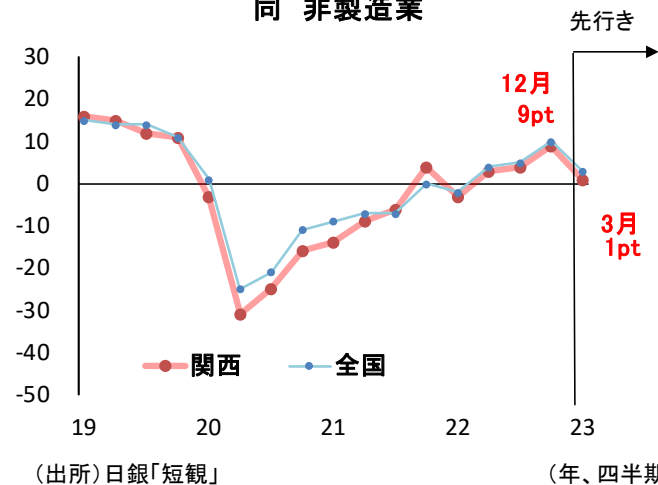
### 短観業況判断DI「全産業」



### 同 製造業

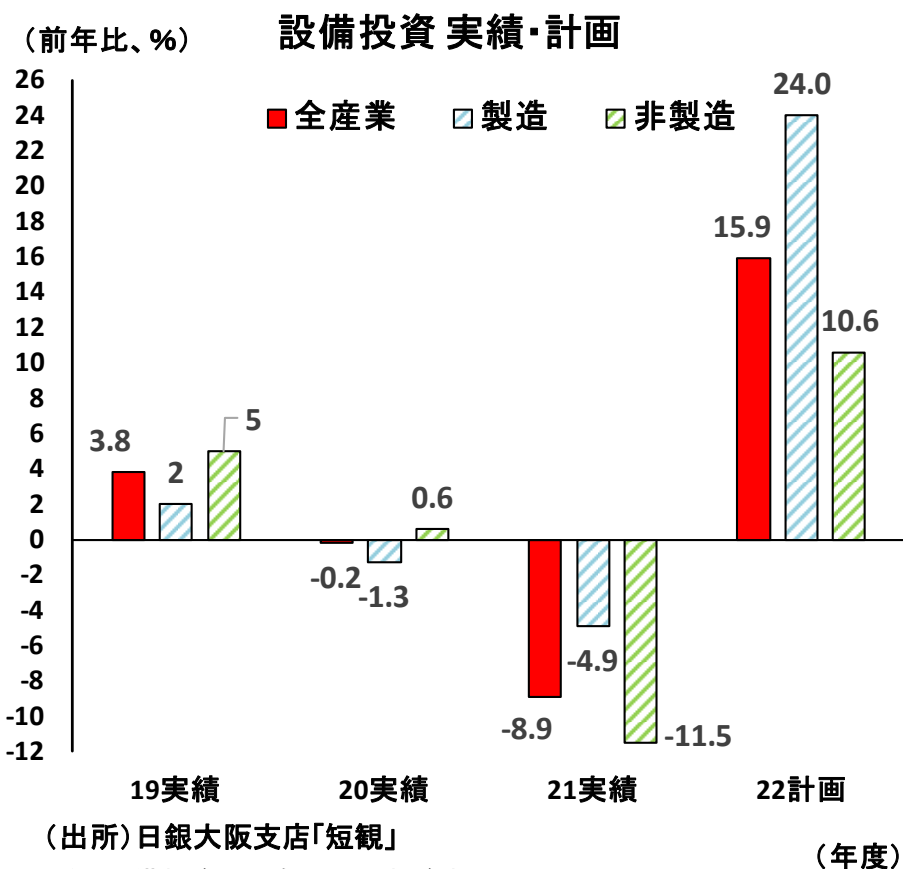


### 同 非製造業



## 設備投資※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査によると、22年度の設備投資計画は前年比+15.9%と9月調査から下方修正となったが引き続き増加を見込んでおり、持ち直しの動きがみられる。業種別の計画をみると、不動産が前年度比で大幅減となる一方、石油・石炭製品、鉄鋼、金属製品、建設、卸売などが大幅増を見込んでいる。



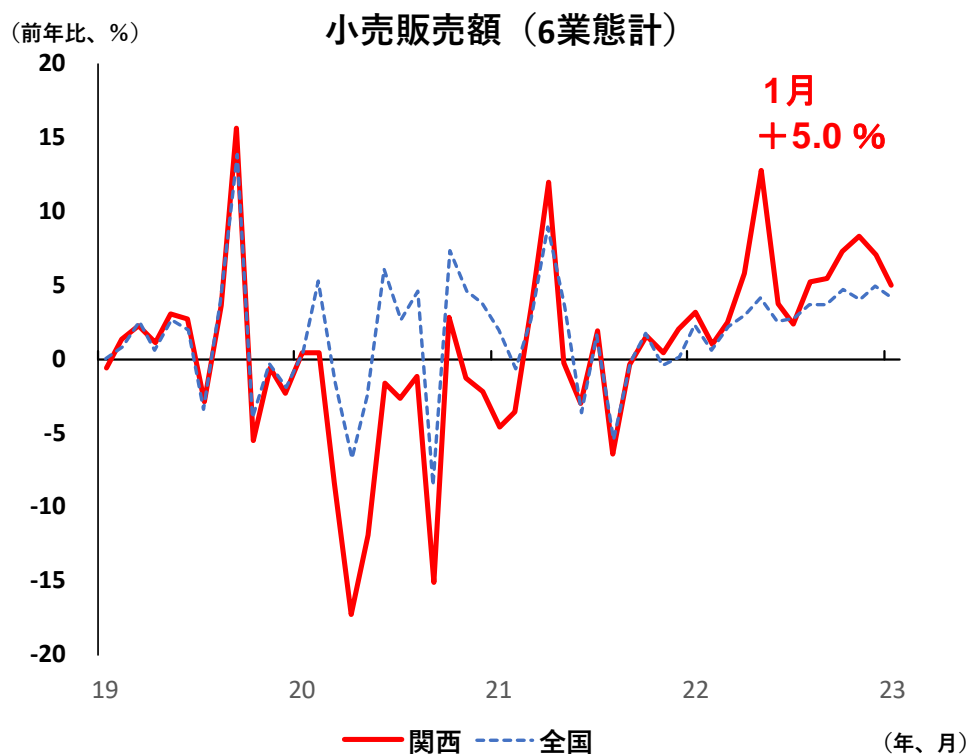
設備投資額(前年比%)

	21年度実績	22年度計画	
		今回調査 (前回調査との差異)	前回調査
全産業	-8.9	15.9 ( -1.7 )	17.6
製造業	-4.9	24.0 ( -1.0 )	25.0
非製造業	-11.5	10.6 ( -2.1 )	12.7

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

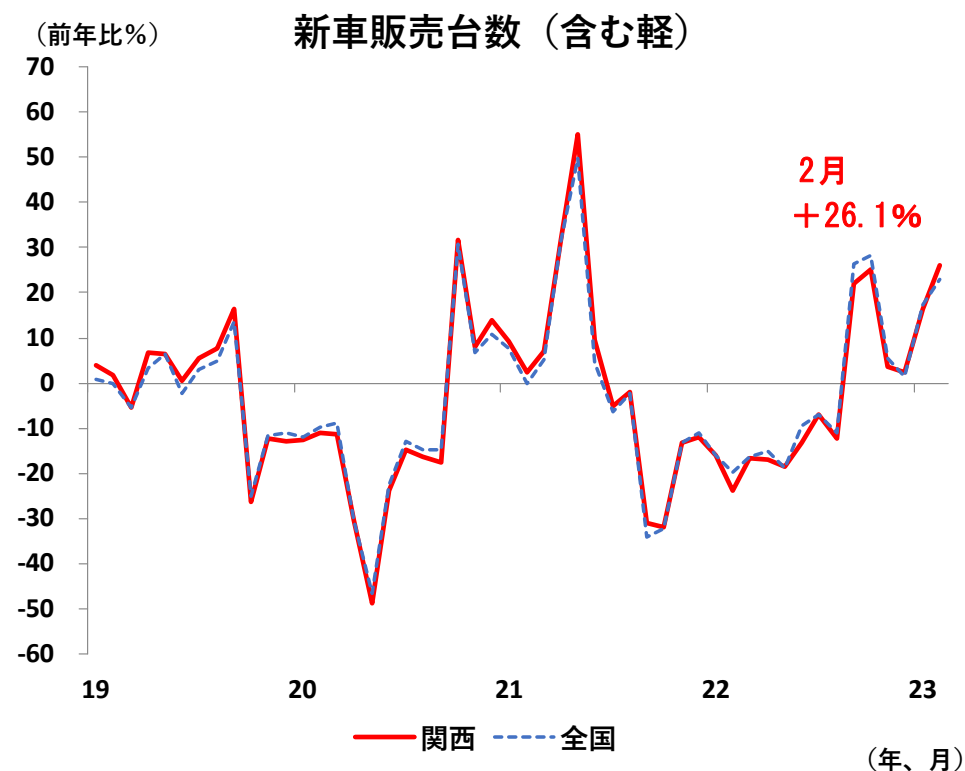
1月の小売販売額は前年比+5.0%と16ヵ月連続で増加した。先行きは、物価上昇、コロナ感染の行方などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

2月の新車販売は、前年比+26.1%の52,446台と6ヵ月連続で増加。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

# 個人消費(業態別)

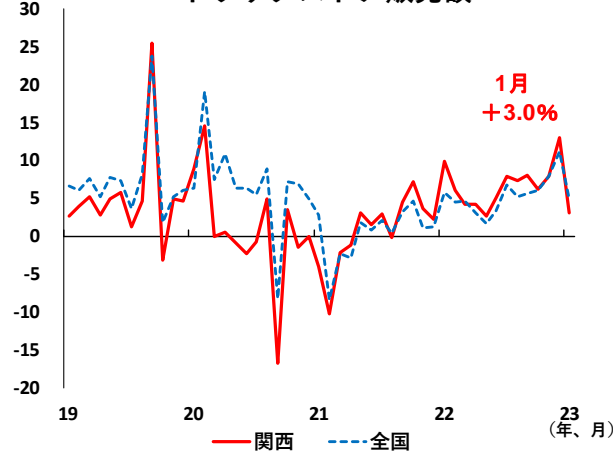
2月の百貨店売上(大阪)は前年比+28.7%と17ヵ月連続で増加した。京阪神百貨店免税売上指数は、入国制限の緩和もあって水準を上げてきており、2月は755.1と前月から低下したものの、コロナ前のピーク(19年4月の1419.6)の半分強まで戻している。



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

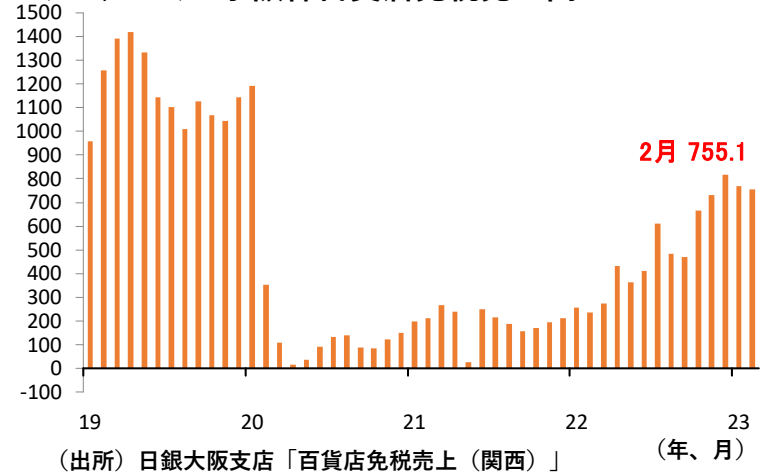
(注) 店舗調整後前年比

(前年比、%) ドラッグストア販売額



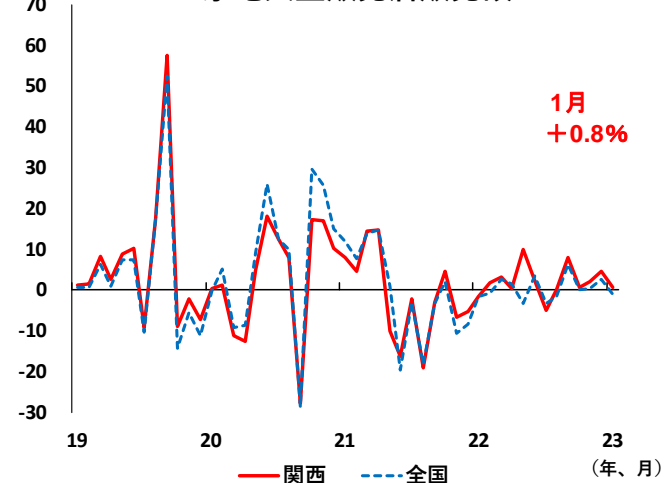
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(2013/4=100) 京阪神百貨店免税売上高



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」

(前年比、%) 家電大型販売店販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

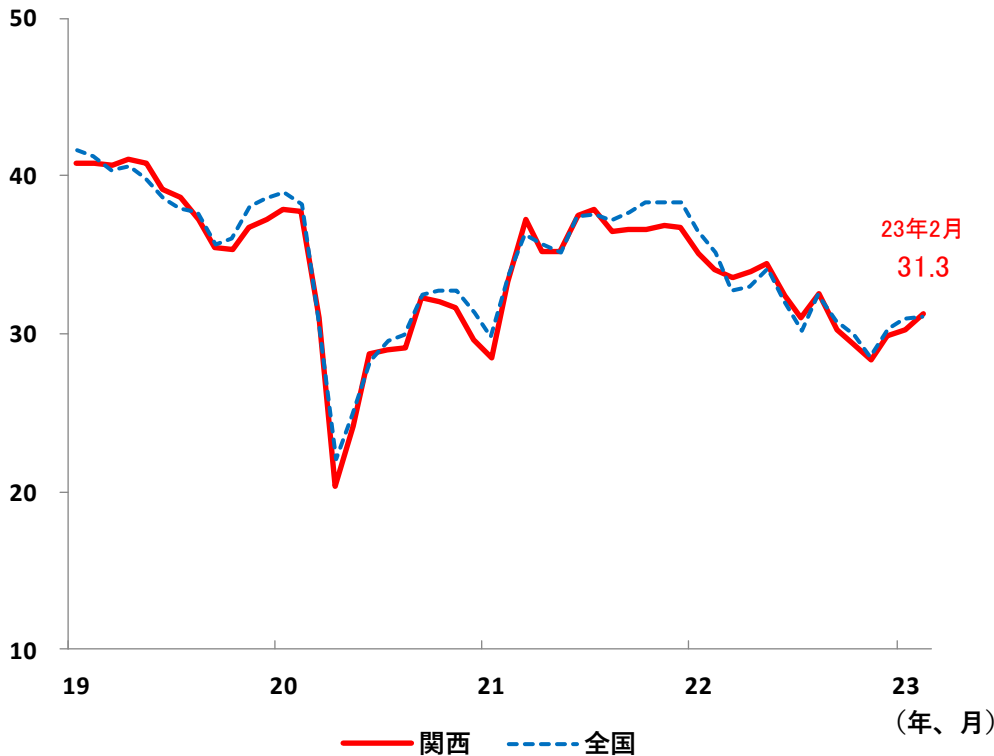


# マインド・景況感

2月の消費者態度指数(季節調整値)は31.3と3カ月連続で上昇した。

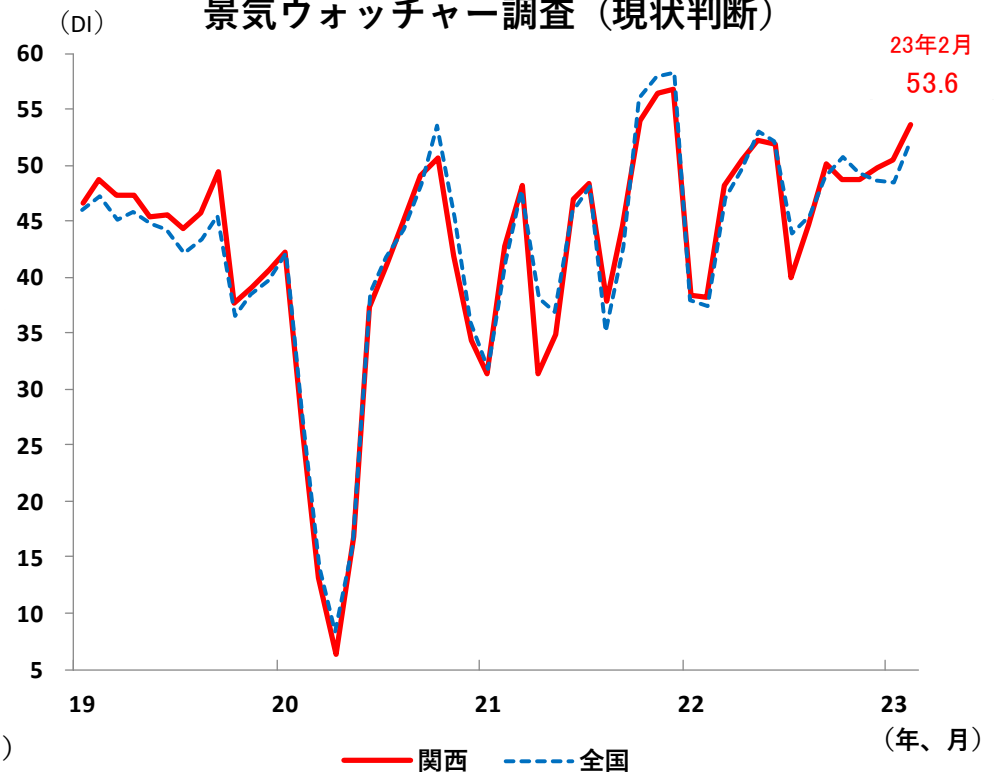
2月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、53.6と3カ月連続で上昇。横ばいを示す50を2カ月連続で上回った。インバウンドの増加、コロナ感染の落ち着いたが押し上げに寄与した。

### 消費者態度指数



(注)関西の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」

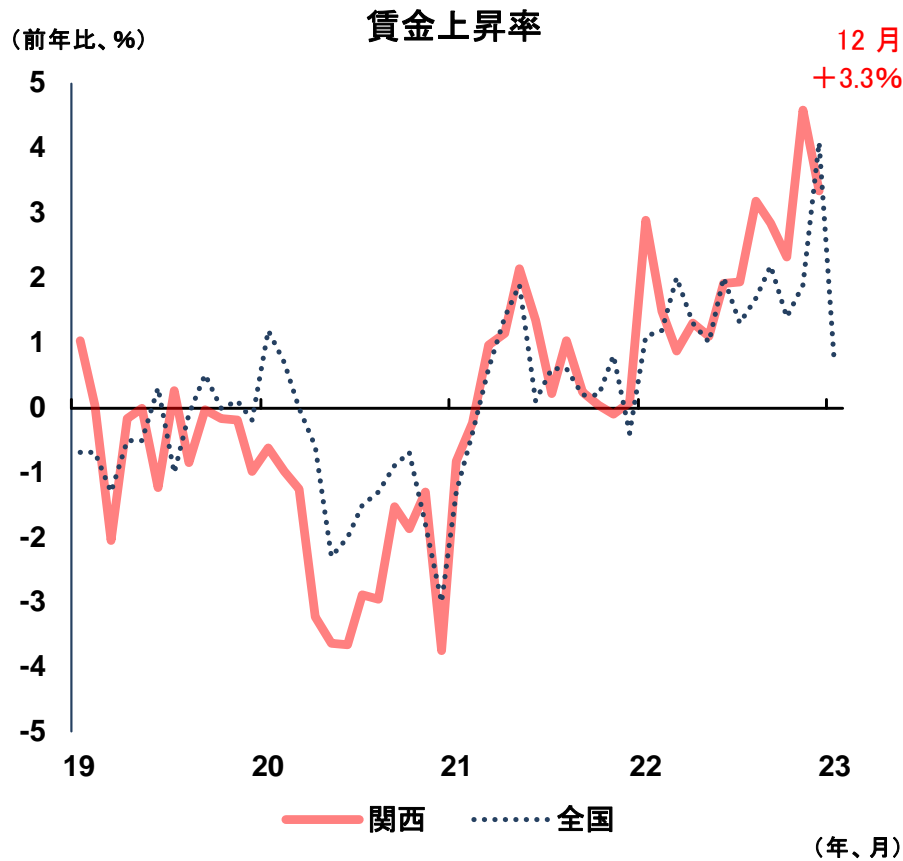
### 景気ウォッチャー調査(現状判断)



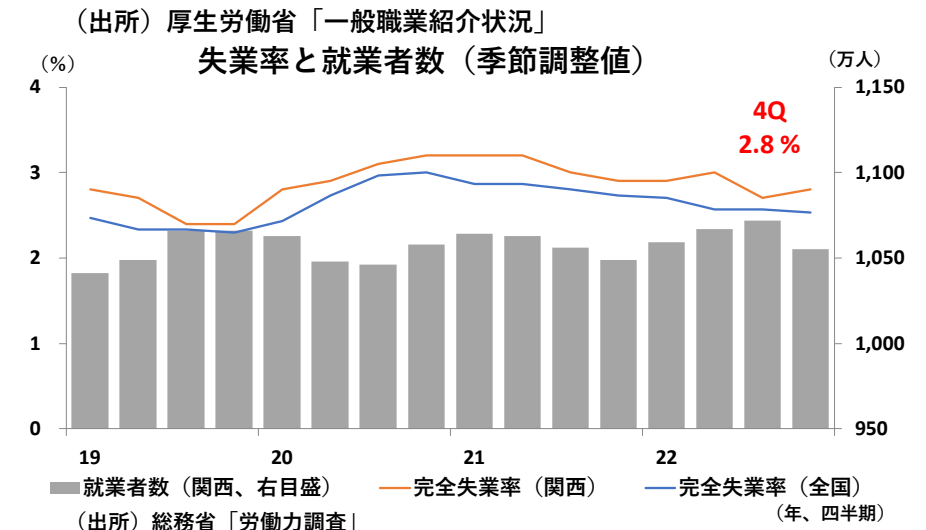
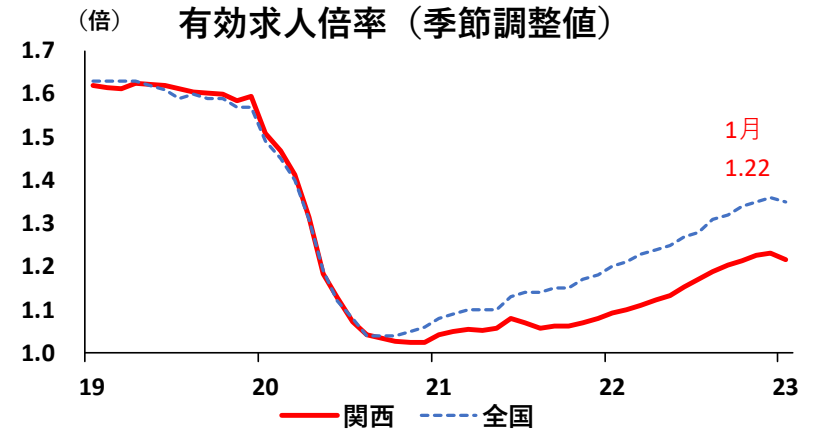
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

12月の名目賃金指数は前年比+3.3%と12カ月連続で増加。コロナ前の2019年比では-0.5%と減少。1月の有効求人倍率は1.22倍と前月とほぼ同水準。全国に比べ求職者数増加の度合いが高く、求人倍率は低めで推移している。22年10-12月期の失業率は2.8%と前期より小幅上昇、就業者数は減少した。

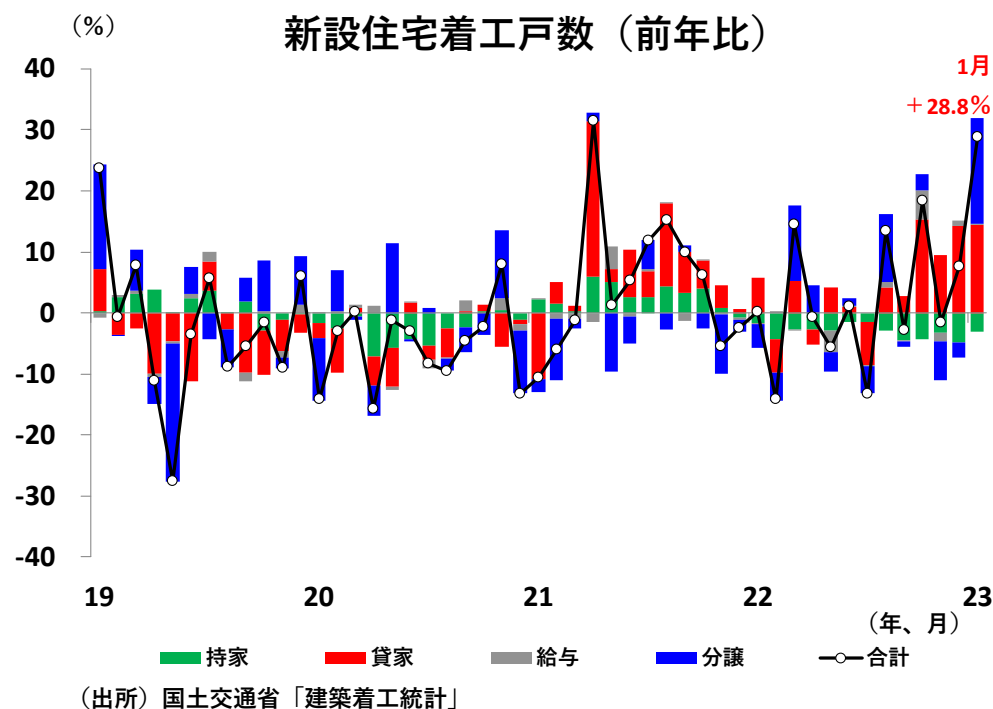
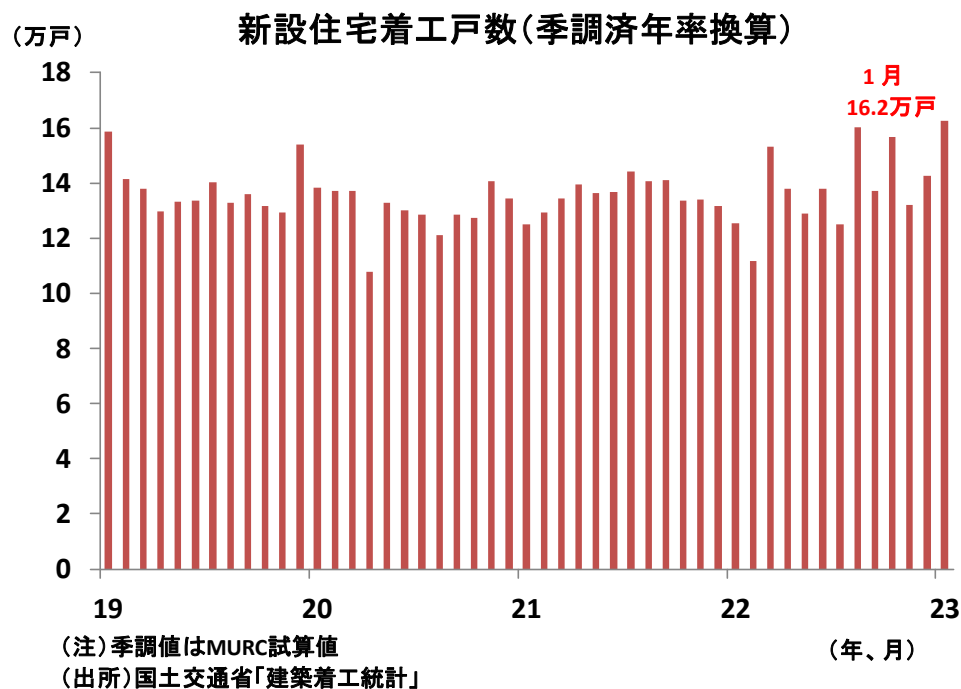


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算  
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



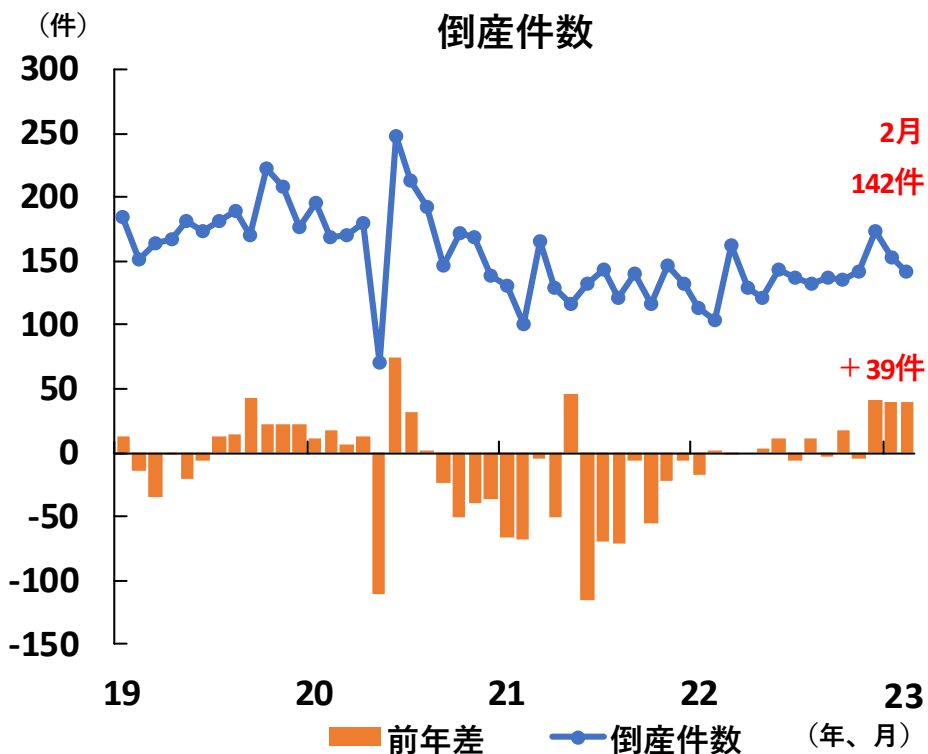
# 住宅投資

1月の住宅着工は季調・年率16.2万戸と2ヵ月連続で前月比で増加。均してみると横ばい圏で推移している。前年比では、貸家、分譲マンションの増加により、全体で+28.8%の増加となった。



## 倒産

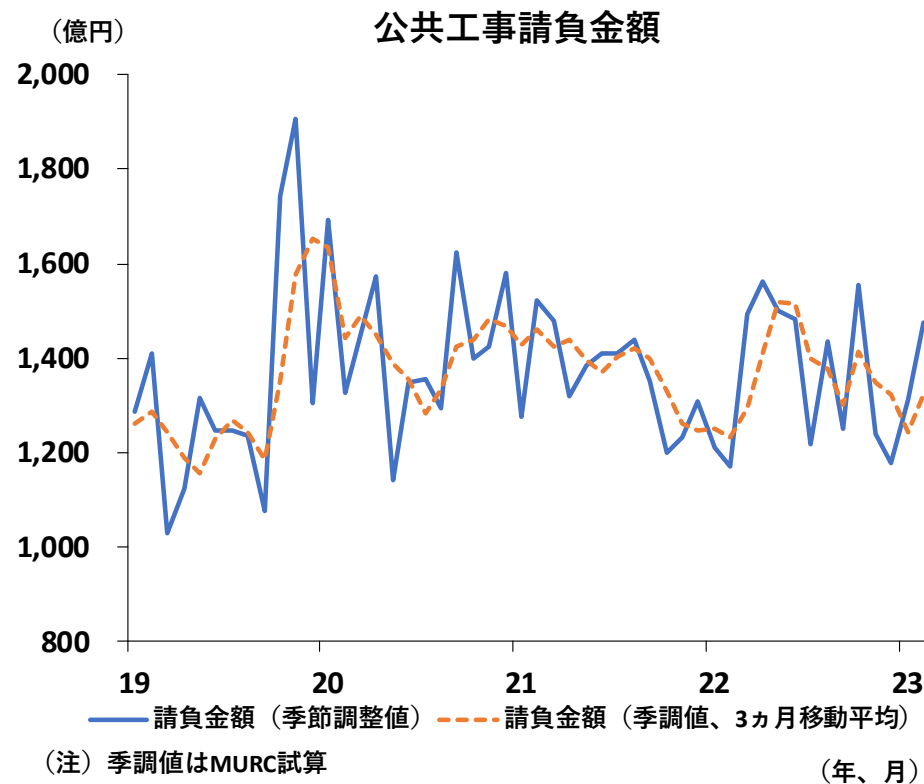
2月の倒産件数は142件と前年から39件増加。水準はまだ低いものの、前年からの増加幅は大きめとなっている。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

## 公共投資

2月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で2ヵ月連続で増加。2月の増加幅は大きいですが、移動平均で見ると基調は弱含んでいる。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください